

令和五年七月一日 福寿の集い

神 示

「運命」に重なる人生を歩み抜いて

人間は「ひと 眞実の光」みちに開運をかなえる

信者は 年を重ね 「人生」に悟りを深めて 心を高めて行く

神が使者を通して 社会よに示す「教え」を

「人生」の支えにすることで

信者は悟りを深め 「人生」を完成させてゆく

福寿を受ける信者に申す

「教え」を学び 「眞理」で家族に関わる思いはいかに

年々 悟りを深める努力が

品性を磨き 徳人とくじんの輝きを引き出す

今年こんねん 「集い」を迎えた信者の課題は

「眞理」に生きる人生こころを神魂かみに誓う

この信念が 信者の心に 心身の健康を引き出し

天寿をかなえる運命ちからと成る

信者家族は 福寿を受ける信者の願いを受け止め

「眞理」で互いに声掛け 支え合う 家族の心を 神魂かみに願う

そこに 福寿を願う家族の運命こころ実体は

ますます重なり 補い合つて

「魂」こころ休まる家庭を築いて行ける

天寿を全うし 健康を手にする 家庭の眞実すがたが ここにある